

特集

平成27年度

当初予算と各種主要事業



チーム韮崎
で実現する

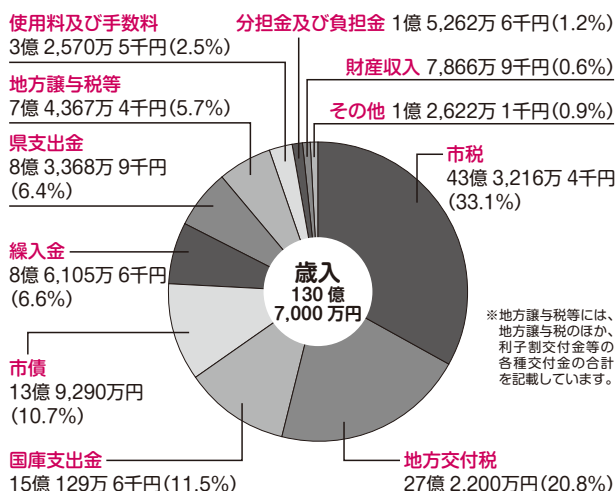
3つの挑戦

韮崎市は市制施行60年を経て、今年度は未来に向けてあらたな第1歩を踏み出す年です。

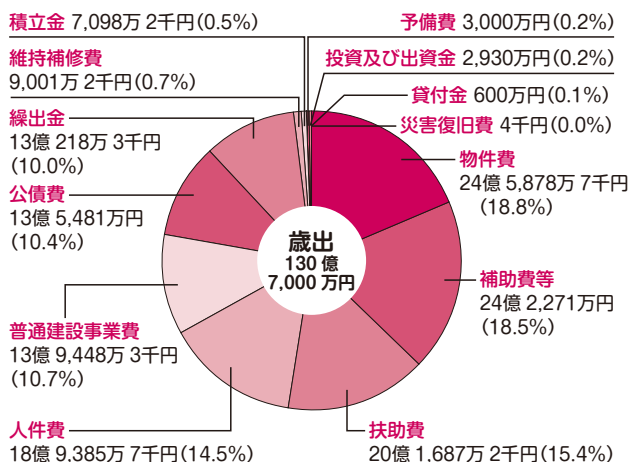
「強くて美しいまち・韮崎」「元気で豊かなまち・韮崎」「夢と
思いやりのあるまち・韮崎」の3つの挑戦を実現させるため、市
民目線で心のこもった市政運営に、「チーム韮崎」で取り組み、
将来に夢と希望の持てる、活力あるまちづくりを推進していくほ
か、重点課題となっている人口減少問題に対応するため、さらに
韮崎市の特色や個性を生かした施策も積極的に進めていきます。



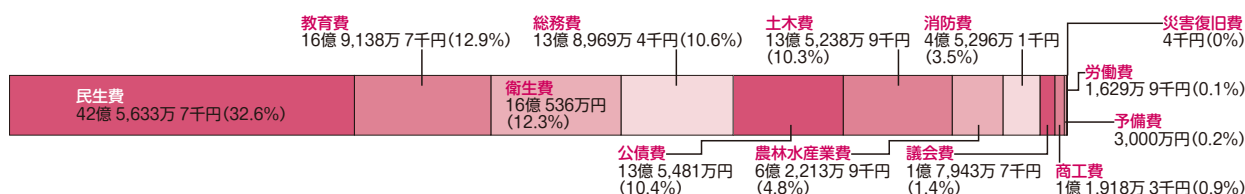
歳入



歳出(性質別)



歳出(目的別)



将来を担う子どもを のびのび育むまちづくり



すずらん保育園（遊戯室）

◆子育て環境の充実

再編保育園第1園となるすずらん保育園が3月に開園し、子どもたちの元気な声が園内にあふれ始めました。天然木材による純木造の特色を活かした、ぬくもりのある木の保育園として、未来を託す子どもたちの豊かな成長を育む施設としての利用が始まっています。

◆英語教育の強化

学習指導要領により、平成32年度から小学校高学年の英語教科化が検討されています。それを前に、文部科学省の「英語教育強化地域拠点事

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

予算額（千円）

1	子ども医療費助成事業費	103,906
2	ひとり親家庭医療費助成事業費	17,996
3	児童センター管理運営費	35,916
4	地域子育て支援センター管理運営費	23,049
5	子育てボランティア推進事業費	389
6	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	20,883
7	母子保健事業費	25,525
8	保育園運営費	290,925
9	病児・病後児保育所運営費	14,719
10	子ども・子育て支援事業費	90,847
11	私立幼稚園奨励補助事業費	36,807
12	英語教育強化地域拠点事業費	702
13	小中学校運営事業費	98,973
14	小中学校健康管理事業費	16,756
15	甘利小学校大規模改修事業費	478,808
16	育英奨学金貸付事業費	6,000

◆児童・生徒の 健康管理体制の充実

腎炎や糖尿病の早期発見と

業一の指定を受け、小学校での英語教育の在り方や中学・高校への円滑な移行のための方策など、先進的な研究に取り組みます。

甘利小学校の大規模改修は、児童の学習活動への影響に配慮して夏休み中に実施するため、3年間の工事期間で実施します。

◆快適な学習環境の推進

市内中学生がふるさと山、鳳凰三山を登山し、大自然を体感する「ふるさと山岳体験事業」を実施します。青少年の健全育成、心身の鍛錬とともに地元の歴史や南アルプスユネスコエコパークについて学ぶ機会も設けます。

◆ふるさと山岳体験 事業の実施

悪化防止を目的に市内小中学校の全児童・生徒を対象に新たな尿検査を実施します。市医師会や山梨大学医学部の協力を得て、検査方法の見直しと3次検査を加える新システムを構築し、未来ある子どもたちが安心して健やかな学校生活を送ることができるよう体制を整備します。

誰もが安心して暮らせるまちづくり

◆医療体制の充実

産婦人科医院誘致助成制度を利用して、市民交流センターに産婦人科のクリニックが開院したことにより、総合的な女性のニーズに応え、安心して子どもを産み育てる環境が整いました。

また、市立病院には医師の指示を関係部局に伝達するオーダーリングシステムの更新と電子カルテシステムを導入し、待ち時間の短縮を図ります。

◆認知症対策の充実

65歳以上の高齢者の4人に

◆防災・減災 対策事業の推進

1人が、認知症またはその予備軍と言われています。自立した日常生活をおくることのできる期間である「健康寿命」の大幅な延伸を目指して、脳若返り教室を実施します。

自主防災組織を育成・支援するため、防災備品購入の補助制度を新設しました。

また、団員証の提示で商店や事業所などの協力店から割引等のサービスを受けられる消防団員サポート事業など、団員の確保につながる取り組みを推進します。

誰もが安心して暮らせるまちづくり

予算額（千円）

1	健康増進事業費	5,843
2	予防接種事業費	67,925
3	がん検診事業費	47,269
4	健康ふれあいセンター管理運営費	42,045
5	みんなで支える地域福祉推進事業費	13,000
6	老人福祉センター管理運営費	13,189
7	臨時福祉給付金給付事業費	54,255
8	重度心身障害者医療費助成事業費	127,674
9	障害者自立支援事業費	683,607
10	消防団運営事業費	57,515
11	消防ポンプ自動車整備事業費	17,928
12	安全・安心なまちづくり事業費	5,103
13	災害対策事業費	9,960
14	避難路沿道建築物耐震診断事業費	3,652
15	生活保護施行事業費	326,683
16	若者定住就職奨励金支給事業費	500
*	市立病院運営事業費	2,842,870
*	国民健康保険運営事業費	3,705,943
*	後期高齢者医療保険運営事業費	272,101
*	介護保険運営事業費	2,337,887

※ 印は、特別会計・企業会計

心地よい定住環境のあるまちづくり

◆資源循環型社会の構築

廃棄物対策事業として、もったいない運動の推進をキーワードに「ごみ減量化アクションプラン」を策定し、ごみの見える化、生ごみ対策、分別・収集品目等の再検討など、ごみの減量化とリサイクル率の向上に向け、市民の皆さんと協働して取り組みます。

◆定住促進住宅の改修

市内に4ヶ所ある定住促進住宅を移住者に積極的に提供し、本市への移住を促進するため、給湯設備の整備や和室のフローリング化等、若者の

ニーズにも応えられるよう計画的に改修工事を行います。

◆道路等の整備

橋梁やトンネルなど全223施設の点検を計画的に実施していきます。

また、市道葦崎2号線下町橋の修繕工事を行うとともに、市道穴山22号線についても拡幅整備を行います。

なお、市道竜岡18号線に架かる堀切橋については、今年度から3年間をかけて拡幅整備と耐震補強工事を行い、通行の安全性の向上を図ります。

心地よい定住環境のあるまちづくり

予算額（千円）

1	環境衛生事業費	1,847
2	浄化槽設置促進事業費	18,869
3	環境教育事業費	857
4	廃棄物処理対策事業費	75,519
5	資源リサイクル推進事業費	18,171
6	クリーンエネルギー導入促進事業費	940
7	定住促進住宅改修事業費	41,384
8	持家住宅定住促進助成事業費	6,800
9	住宅リフォーム促進事業費	3,600
10	市民バス運行事業費	44,913
11	高齢者タクシー利用助成事業費	3,126
12	市単独道路整備事業費	138,428
13	市道（藤井）6号線道路整備事業費	45,360
14	市道（穴山）22号線道路整備事業費	56,160
15	堀切橋拡幅整備事業費	86,400
16	道路施設長寿命化推進事業費	52,167
*	水道事業費	1,505,959
*	公共下水道事業費	1,351,033

※印は、特別会計・企業会計

魅力あふれるまちづくり

予算額（千円）

1	県営畑地帯総合土地改良事業費	93,832
2	小土地改良事業費	65,971
3	農業基盤整備促進事業費	40,010
4	県営中山間地域総合整備事業費	62,446
5	農業施設防災・減災推進事業費	16,010
6	新規就農者支援事業費	35,880
7	まちなか活性化推進事業費	10,647
8	一般商工振興事業費	3,863
9	農商工連携推進事業費	1,700
10	ユネスコエコパーク普及促進事業費	322
11	武田の里まつり補助事業費	17,523
12	地区公民館管理運営費	23,470
13	市立図書館管理運営費	64,742
14	健康ウォーク推進事業費	500
15	文化ホール管理運営費	164,823
16	史跡新府城跡環境整備事業費	18,797

魅力あふれるまちづくり

◆赤ワインの丘プロジェクトの推進

穂坂町のぶどうなど地域資源を活用し、農商工が連携して事業展開を目指す「赤ワインの丘プロジェクト」については、3月に策定された計画に基づき具体化に向けて事業を実施していきます。

◆農林業生産基盤の整備

「県営ため池整備事業」については、平成25年に行ったため池の調査点検の結果により、市内11ヶ所の中から山口ため池・沢村堤を選び、漏水

等の解消と耐震化の改修事業採択に向けて、計画概要書の策定に着手します。

また、「県営畑地帯総合整備事業」は、農業後継者の育成と遊休農地解消のための基盤整備事業として取り組んでいる日之城区で、引き続き、区画整理工事及び農道整備工事を実施します。

耕作放棄地の解消と発生防止のための基盤整備事業として取り組んでいる大草地区では、中割工区のは場整備事業を着手し、割羽沢川への橋梁、農道1号線整備工事を実施していきます。

◆まちの賑わいを創出する商工業の振興

今年度は、過去最大となる20%のプレミアムを上乗せした、総額1億8千万円の「ドリーム商品券」を発行します。また、15歳未満のお子さんをもちの子育て世帯には、さらに10%を上乗せして子育て支援も充実させます。

◆空き店舗対策の推進

新たな取り組みとして、将来的に起業を考えている方の試験的な出店や地場産品や手作り工芸品など、短期間での販売や発表の機会の提供、ギャラリ、体験教室など、様々なニーズに対応が可能なまちなか店舗フリーショップ事業を実施します。

◆小規模企業の支援

元気で豊かなまち・にらさきの実現のため、地域経済を支える小規模事業者を支援する、小規模企業振興基本条例の制定に積極的に取り組んでいきます。

◆魅力あふれる観光施策の充実

昨年6月、南アルプスがユネスコ・エコパークに登録さ

れたところですが、鳳凰三山や甘利山などでは、鹿害や外来植物の繁殖など自然環境を保全するうえで様々な課題が山積しています。このため地域推進協議会を設立し、地域活性化や観光振興とも結びつけながら、課題解決に向け取り組んでいきます。

◆武田の里にらさき・富嶽36景の選定

美しい富士山を望むまち・にらさきを国内外に広くPRし、各種イベント等とも融合させながら、誘客による交流人口の増加を図ることを目的に、武田の里にらさき・富嶽36景を選定します。

◆市立図書館の充実

4月から開館時間を午後8時まで延長し、利用者の利便性をさらに向上させます。

◆健康ウォークの推進

まちづくりにはそこに集う市民や人々が健康であることが大切です。

そこで今年度は春の武田の里ウォークに加え、秋に、日本有数の日照時間を誇る穂坂台地で新たなウォーキングイベントを実施します。



◆文化芸術の振興

昨年10月、女子美術大学と教育・文化・まちづくりについて相互に協力する連携協定を結びました。今年度は「まちなか美術館構想」について、葦崎大村美術館を中心に女子美術大学の学生、地元の高校生、商工会等からなる実行委員会を立ち上げ、計画や実施事業の立案を行います。

◆七里岩の魅力発信と継承

七里岩は葦崎という名前の由来の一つでもあり、ここを舞台に多くの歴史・文化・文学が育まれてきました。

この七里岩を、生涯学習、環境教育の場、観光資源としてその価値を情報発信するとともに、後世に継承するため、七里岩の魅力発信・継承事業に取り組み、山梨県初の『名勝地』として国の登録文化財を目指します。

人が集う交流のあるまちづくり

◆FMラジオ局サテライトスタジオを設置

市民交流センター内へFMハケ岳のサテライトスタジオを設置し、観光やイベント、市民生活に直結する情報をタイムリーに発信します。また、災害時には緊急情報伝達手段として活用します。

◆市民交流センターのインターネット環境の整備

二コリ1階共用スペース周辺に加え、1階会議室等のエリアにもWiFi（ワイファイ）環境を整備します。

◆移住・定住促進対策の強化

移住・定住の促進に積極的に取り組むため、市民や学識経験者、民間の市内各種団体などが参加する審議会の設置のほか、本市単独で行う移住セミナーの開催、移住体験ツアーの実施など、さまざまな取り組みを行います。

また、空き家バンクの登録物件を対象として、リフォーム工事等への助成を行う空き

健全な行政活動によるまちづくり



東京で開催された移住セミナーでは、内藤市長のトップセールスに多くの移住希望者が熱心に耳を傾けていました。（3月8日 やまなし暮らし支援センター）

健全な行政活動によるまちづくり

予算額（千円）

1	職員研修費	4,945
2	行政改革推進事務費	51
3	賦課徴収事務費	36,296
4	情報システム管理費	254,899

人が集う交流のあるまちづくり

予算額（千円）

1	葦崎市民交流センター管理運営費	62,524
2	文書管理事務費	24,350
3	事務事業外部評価事務費	142
4	広聴広報事務費	21,197
5	公共施設等総合管理計画策定事業費	1,536
6	男女共同参画社会づくり事業費	1,284
7	地区活動推進事業費	19,769
8	国際交流事業費	2,970

家バンクリフォーム補助制度を新設し、定住者の増加につなげて行きます。

◆社会保障・税番号制度

来年1月から、個人番号の利用や番号カードの発行等の開始が予定されていることから、円滑かつ適正な制度実施に向け準備を行います。

◆ふるさと納税の充実

寄附をインターネット上で行える仕組みを導入するほか、お礼の品に体験型のメニューを加えるなど、市のPRや寄附額の増加につなげて行きます。